

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報 46 号

発行者 森下健七郎

発行所 連盟事務所 天野賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 岩井田正昭

発行数 1600 部

埼玉岳連



『天皇杯』 同位で東京都と分ける

巻 頭 言

きすな

『絆』第 2 回秩父夏休み親子自然観察教室を終え

開催委員長 長谷川茂

昨年度に第 1 回秩父夏休み親子自然観察教室を始めた時は、県内一般の 7 家族の方との実施。今年の申し込みは 15 家族 38 名となり、うち 4 家族は再度の参加でした。

「理由は」の問いに「楽しかった。子供が是非、行きたいと言うから」の即答が返ってきた。世間にあるキャンプでは決して味わえない夏休みキャンプが「岳人の家にはあるんですよ」とも話された。

岳人の家正面に掲げられた岳連旗を見つめる都度、賛同して惜しみなく協力して頂いた三峯神社、地域、行政の皆さんや、時間を割き、手弁当で事にあたる岳連の仲間、百年の森、防衛医科大、ボランティア参加の高校の生徒さん、ひとり一人に感謝の思いで事にあたってきました。

どこまでも手作り、スタッフは自分が培ってきた知識を、フルに活かした自主運営でした。

そして参加する側と開催する側の、伝承の関係も相互に気づきと感動、驚きを感じる 3 日間を演出し、短い時間の中で何かを感じ取り成長する子供たちの意識変化を実感できる「親子キャンプ」でした。

これからも県岳連の委員会を越えた活動で、会員相互と多くの仲間との強いチームワークと『絆』を図っていきます。

《岳連報 46 号目次》

東京国体 天皇杯 1 位

- 1 p : 第 2 回秩父/自然観察教室・巻頭言
- 2 p : 同上 実施報告
- 3 p : 同上 実施報告
- 4 p : 第 68 回 国民体育大会【速報】
- 5 p : 同上、「投稿」自然観察教室感想
- 6 p : 6 月常任理事会報告
- 7 p : 指導委員会総会報告
- 8 p : 夏山遭難防止講習会報告、同感想
- 9 p : 田中名誉会長受章式、阿寺の岩場情報
- 10 p : 参与会名簿、就任挨拶/森下健七郎
- 11 p : 他岳連案内、クライミング・リゾート
- 12 p : 広告《ピラミッドジャパン様》、編集後書
- 13 p : 広告《ニッピン様》
- 14 p : 広告《田中産業様》

『第 2 回秩父夏休み親子自然観察教室』



実施報告 敬称略

主催 : 埼玉県山岳連盟 企画委員会
 共催 : 秩父山岳会
 後援 : 埼玉県環境部みどり自然課、秩父市
 NPO 法人「100 年の森づくりの会」
 日時 : 平成 25 年 8 月 9 日~8 月 11 日(2 泊 3 日)
 場所 : 秩父市大滝 旧大滝小学校三峰分校
 『岳人の家』

参加者 : (敬称略)

- 開催委員会 : 森下健七郎 県岳連 会長
: 沼崎 敬
埼玉県環境部みどり自然課主査
- 開催委員長 : 長谷川 茂 (熊谷山岳会)
県岳連企画委員長
- 実行委員長 : 高岡 正彦 (高体連登山専門部)
県岳連自然保護副委員長
「100 年の森づくりの会」副理事長
- 実行委員 : 加藤 富之 (深谷山岳会)
: 井上 昇 (加須クライミングクラブ)
: 塩谷 壽子 (大宮山岳会)
: 本村 貴子 (桜草山の会)
: 桜井 勝伸 (壁稜山岳会)
: 中西 博 (東部登高会)
: 三ツ木達男 (恵流峰会)
: 計良 寿彦 (東部登高会)
: 伊藤 正孝 (防衛医科大山岳同好会)
: 谷水 亜季 (防衛医科大山岳同好会)
: 岩井田正昭 (川越山の会五十雀)

実行委員補助員

- : 守谷 裕之
(100 年の森づくりの会専務理事)
- : 伊藤 真木 (高校生 桜蔭高校)
- : 市川 貴志 (高校生 いずみ高校)
- : 田村 結 (高校生 いずみ高校)
- : 小島 巧大 (高校生 いずみ高校)
- : 浅井 郁斗 (高校生 いずみ高校)
- : 小林 丈人 (高校生 いずみ高校)
- : 厚見 朋和 (高校生 いずみ高校)
- 講師 : 千島 幸明 (三峯神社・禰宜)
- : 斉藤 次江 (天神平星の観察ガイド)
- : 新井 靖雄 (山岳写真家・
霧藻ヶ峰山小屋管理人)
- : 葦原 義人 (皆野猟友会)
- : 中川 芳和 (100 年の森づくりの会)

行動報告

- 7 月 28 日 : 打合せ会 長谷川、森下、井上、中西、
本村、柴崎、岩井田
- 8 月 03 日 : 事前準備会 長谷川、岩井田
- 8 月 04 日 : 食材購入 井上、長谷川、岩井田
- 8 月 06 日 : 機材搬入 高岡
- 8 月 08 日 : 前日準備会 長谷川、三ツ木、桜井、中西、
本村、塩谷、加藤、岩井田
- 8 月 09 日 : (金)【天候・晴れ】



開校式の挨拶を森下会長から

- スタッフ : 長谷川、高岡、三ツ木、桜井、中西、森下、
本村、塩谷、加藤、井上、岩井田、伊藤(正)、
谷水、守谷、中川、伊藤(真)、市川、田村、
小島、浅井、小林、厚見 (22 名)
- 講師 : 千島(三峯神社・講話)、斉藤(星の観察会)、
新井(秩父の山岳写真について)
- 10:10 開校式 司会 : 高岡正彦 ・実行委員長
主催者挨拶 : 森下健七郎 ・県岳連会長、主管者
挨拶 : 長谷川 茂 副実行委員長 スタッフ紹介後
リセッション行い本日の行動概要を説明し、食事となる。
- 12:30 昼食《流しソム》

- 13:00 ごろ井上シェフが火傷を負う。伊藤医師が応急処置を施し、すぐに地元の病院へ移送、退院後一度戻りスタッフに調理の指示後、帰宅。
- 13:30 校庭にテント設営(設営の手伝い、主として高校生スタッフが応援)
県環境部みどり自然課沼崎主査来訪森下会長応接
- 14:10 高岡委員長先導でバスを利用して三峯神社へ移動し見学 千島講師より「三峯神社の故事来歴」のご講話を聴く。終了後興雲閣神の湯にて入浴。
- 17:00 バスにて「岳人の家」に到着。自由時間。
- 17:30 夕食《にじますホイル焼き、キャベツ、キュリ浅漬け、舞茸バター炒め、具たくさん汁》
ゲスト全員が一堂に会することができました。スタッフは屋外テーブル・ビュッフェ形式で食事。
- 19:00 「夕べの集い」齊藤講師による講堂にてプロジェクターによる映画会、屋外校庭から星の観察会、終了後・校庭で花火遊び(高校生が主導)
- 20:00 食堂にてゲストご家族と懇親会
「秩父の山岳写真に関わって」新井講師から貴重な体験のお話を伺う～22:00 解散
- 22:30 周囲点検・就寝

8月10日:(土)【天候・晴れ】

スタッフ:長谷川、高岡、三ツ木、桜井、中西、本村、塩谷、加藤、計良、岩井田、伊藤(正)、谷水、中川、伊藤(真)、市川、田村、小島、浅井、小林、厚見 (20名)

講師:葦原(秩父の害獣駆除のお話)

- 06:00 起床
- 06:30 全員でラジオ体操 (指導・高岡)
- 07:00 朝食《焼きむぎ、みそ汁、お味噌汁》
- 08:00 徒歩にて三峯神社へ向かい、霧藻ヶ峰へ
- 10:30 霧藻ヶ峰へ到着、全員で集合写真を撮影(霧藻ヶ峰山小屋管理人新井講師)、昼食《おにぎり弁当+キュリ漬物》帰路、登山者全員で「神の湯」で入浴しバスで「岳人の家」に戻る。
- 15:00 校庭の屋外キッチンで参加者によるカレー作りにチャレンジ。並行して「おまんじゅう作り指導 長谷川」や、その他「紙鉄砲:指導 中西」作りにも挑戦。
- 18:00 夕食《手作りカレー、シーザーサラダ、ポテトサラダ》
- 19:00 葦原講師を囲んで「害獣駆除について」面白いお話を聞く、実物の骨格を持参し、違った世界の動物についてお話を聞いた。厨房スタッフは休む暇もなく、明日の支度に余念がない、
- 21:30 残念だが今夜は早めのクローズとして解散する。
- 22:00 周囲点検。片付けして就寝。

8月11日:(日)【天候・晴れのち雷雨】

スタッフ:長谷川、高岡、三ツ木、中西、本村、塩谷、加藤、計良、岩井田、伊藤(正)、

谷水、中川、伊藤(真)、市川、田村、小島、浅井、小林、厚見 (19名)

- 06:00 起床
- 06:30 全員でラジオ体操(指導・高岡)
- 06:40 参加者全員の自己紹介が行われました。
- 07:00 朝食《オムレツ、スープ、ホットコーヒー》
- 08:00 テント撤収・片付け後、自由行動
水鉄砲作り、丸太の皮むき、丸太の椅子作りに挑戦 [指導:中川]
- 11:00 閉校式 長谷川、高岡両委員長から子供さん達全員に日本山岳協会からの「少年少女登山教室」修了書と記念バッジが手渡されました。



頑張りました、ありがとう!

- 11:15 参加者全員で記念写真を撮影、3日間に渡る「第2回秩父夏休み親子自然観察教室」は思い出を残して解散となりました、スタッフ全員で校庭から見送り、一部の方は大滝の湯で入浴後帰宅。
- 12:00 復旧作業に取り掛かりすべての持込品の撤去、残食材の処理、清掃、ゴミ処理焼却を行う。
- 15:00 天候が急変「雷雨」の中、スタッフは解散し、順次下山する。
天候には恵まれた『第2回秩父夏休み親子自然観察教室』でした。

文責 広報 岩井田正昭



沢山の思い出を残してまた、お逢いしましょう

化委員長はじめ多くの岳連関係者・保護者・埼玉県の若いクライマー、の応援・支援ありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

少年男子監督：内海 信 県立春日部工業高校
選手：是永敬一郎 京北高校
選手：波田 悠貴 県立久喜工業高校

『東京国体に参加して』

少年男子監督として、初めて東京国体に参加しました、競技結果は、リード競技一位、ボルダリング競技一位、種目別天皇杯一位になり、岐阜国体からの連覇となりました。

是永敬一郎選手・波田悠貴選手の世界レベルの実力からすれば、当然の結果に成ったわけですが、初心者監督とすれば、極限のプレッシャーデビューでした。

しかし、山岳指導員資格を取得し、ワールドカップ等の競技役員の実験を生かし、落ち着いて、是永・波田両選手のサポートを心がけました。

これ以上無い結果に満足し、そして本当にほっとしています。

個人的な話になりますが、高校時代ラグビーフットボール競技の選手として、佐賀国体に参加して以来、三十八年ぶりに競技種目は変わりましたが、監督として返り咲くことが出来て感慨深いものがあります。

来年の長崎国体では、是永選手は、成年男子で、波田選手は、三連覇を達成して、世界で活躍してほしいと思っています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

少年女子監督：岡野 次男 県立川口工業高校
選手：尾上 彩 埼玉岳連
選手：坂井 絢音 埼玉岳連



皇后杯5位 (左・尾上/坂井選手)



少年女子 リード 尾上選手

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(公益社団法人) 日本山岳協会の競技部部長に就任して 森下 健七郎

日本山岳協会が公益社団法人として、新しい時代に向けて、新たな旅立ちをしました。その制度改革に伴って、常務理事が 18 名から 13 名に理事が 32 名から 25 名に減りました。

そうした中で、日本山岳協会は、会員向けは勿論ですが登山やクライミングの愛好者の多角的で多様化するニーズに公益社団法人として対応して行かなければなりません。

その為に、神崎会長のリーダーシップの元、他の山岳諸団体と協力して強固な連携を構築して、日本の登山界を統括する団体としてリーダーシップを発揮して行く事を広く宣言しています。

具体的には、組織を従来から懸案だった「登山部と競技部」に明確に分けて、それぞれの分野でスポーツグループの構築を目指しています。小生はこの内、オリンピックにバネトされたスポーツクライミングと他の山岳関係競技の発展を見込んで、従来からの競技委員会から競技部に昇格した競技部の部長としてその組織作りを任せられました。しかし、「任された」と言うのは、小生が考えている通りの組織を自由に作れる権限を与えられたイメージですが、今までの人材を生かして組織再編して行くのはそう簡単に出来る事では有りません。何故なら、競技に対してそれぞれ考えと意見を持った人間が相手だからです。

しかし又、「自分が熱意を持って関わってきたスポーツクライミング競技のオリンピック化に何等かの形で貢献出来る事は幸せな事である」と考えて、引き受けた次第です。実際にオリンピック競技なるまで関わる積もりは有りませんが、その為の組織作りにも貢献出来て、次の世代に引き継ぐ事を目標に 2 年間頑張りたいと思っています。

※日山協制度改革に伴い、森下会長が常務理事に就任され、その思いを語って戴きました。

広報委・岩井田正昭

『平成25年6月常任理事会(第1回)報告』

6月12日(火)午後7時30分~9時10分北本市中央公民館
0 出席:森下会長・石倉・古峰副会長・天野理事長・瀬藤副理事長・野村・土屋・宇津木・大石・岩崎・岩井田・長谷川各委員長・加藤事務局長・塩谷事務局員
欠席:福田副会長・鈴木委員長

1 開会挨拶 (石倉副会長)

2 挨拶 (森下会長)

3 報告

- ①5/11阿寺の岩場公開記念交流集会 <大野宅>
森下・岩井田・加藤・大野・山遊人3名、宮崎氏他1
②5/18-19自然保護の集いリハサル 県岳連:16名他14名
③5/26加須カップ 選手:名参加 <加須>
④6/1-2リト`ジ`ャ`ン`カップ <東久留米>
⑤6/1レスキュー研究会 計8名参加 <東吾野・平戸の岩場>
⑥6/8県立自然公園清掃登山 計17団体・224名参加
⑦6/9コハ`ト`ホ`ル`ダ`リング`大会in川越 選手:170名参加

4 協議

- (1)各委員会の事業について
①指導委員総会兼研修会(6/30)
②夏休み子ども自然教室(8/9-11)6/1県民便りに掲載→17件の問い合わせ・反響有り
③自然保護の集い中央大会(日山協自然保護指導員総会)(9/14-16)
④S C指導員養成講習会(10/26-27, 11/9-10)
⑤全国高校生選抜大会(12/22-23)
加須開催は今年度が最後。来年度からは、千葉と調整中。
(3)個人会員総会(6/15)について
(4)参与会員の拡大について
(5)カレンダー作成について
(6)田中文男氏の叙勲を祝う会(6/16)について
(7)「岳人の家 除草と枝払い、駐車場整備」のご協力を!! 6/21-23

5. 各部からの報告等

①指導委員会

- 6/8-9 日山協・指導委員総会兼研修会 (野村・鈴木・計良) 晴海
○6/30 指導員総会・研修会 埼玉会館
○10/20 登攀講習会 天覧山
○10/26-27 スポーツクライミング 指導員養成講習会 加須
○11/ 9-10 スポーツクライミング 指導員養成講習会 加須

②競技委員会

- 5/25 競技委員総会 加須
●5/26 第14KAZOクライミング`カップ` 2013兼埼玉国体予選会
●6/1-2 第27 回リト`ジ`ャ`ン`カップ` 東京大会(スポーツ祭東京2013 山岳競技リハサル大会)東京・東久留米市
●6/9 第68 回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会審判員会議(加藤)神奈川県藤沢市

●6/9 第26 回コハ`ト`ホ`ル`ダ`リング`カップ` in RC川越(兼埼玉県国体予選会)川越

○7/20-21 第68 国体関東ブロック大会(審判員派遣:土屋・加藤 総務:天野)神奈川県藤沢市

③選手強化委員会 <別紙参照>

- 5/26 第14KAZOクライミング`カップ` 2013兼埼玉国体予選会
●6/1-2 第27 回リト`ジ`ャ`ン`カップ` 東京大会(スポーツ祭東京2013 山岳競技リハサル大会)

●6/9 第26 回コハ`ト`ホ`ル`ダ`リング`カップ` in RC川越(兼埼玉県国体予選会)川越

○6/18 高体連学総体(ホルダ`リング`の部)川越ロッククラブ

○7/2 国体必勝会議 天野・内海・岡野・宇津木 スポーツ総合センター

○7/20-21 第68 国体関東ブロック大会 藤沢市

◆関東ブロック大会 派遣選手・監督

- ・成年女子選手: 三上 智子 (B-PUMP)
三森 里子 (PUNP1)
監督: 宇津木秀二 (伊奈学園)
・少年男子選手: 是永敬一郎 (京北高校)
波田 悠貴 (久喜工高)
監督: 内海 信 (春日部工高)
・少年女子選手: 尾上 彩 (埼玉県岳連)
坂井 絢音 (山村学園)
監督: 岡野 次男 (川口工高)

④遭難対策委員会

- 5/11-12 日山協・山岳遭難対策研修会
●5/25 遭対委員総会
●6/ 1 レスキュー研究会 東吾野・平戸の岩場
○6/29-30 日山協・遭難対策委員総会兼研修会 大阪
○7/20 夏期遭難防止研修・講習会

⑤自然保護委員会

- 5/18-19 自然保護の集い・リハサル 小川げんきプラザ
●6/ 8 平成25年度 埼玉県立自然公園清掃登山
○6/21-23「岳人の家 除草と枝払い、駐車場整備」

⑥海外登山委員会

- デ`リ`カ`遠`征`中(鈴木委員長他無名山塾隊)5/30~6/22
○6/22-23 日山協 国際委員総会・第32 回海外登山遭難対策研究会 八王子
○7/2 例会 大宮
○未定「8000m 峰14座登頂:竹内洋岳氏講演会」ただいま依頼調整中! 大宮ソニック

⑦ジュニア委員会

- 5/11-13 高体連学校総合体育大会登山大会縦走の部 雲取山・和名倉山・武甲山
●5/25-27 県教委 夏山登山指導者実技講習会
○6/18 高体連 学総体登山クライミング`の部(ホルダ`競技)
○6/26 高体連登山専門部 夏山机上講習会
○8/2-6 全国高体連 インターハイ登山大会 大分九重山城
○8/20 高体連登山専門部 南部地区新人大会 荒川支流谷津川地獄谷

⑧広報委員会

●5/31 第45 号発行

○9/11 第2回編集委員会

○10 中 第46 号発行 東京国体報告他

⑨企画委員会

●6月1日発行「県民だより」に「第2回秩父夏休み親子自然観察教室」の案内が掲載。

○8/9-11 第2回秩父夏休み親子自然観察教室
三峯・岳人の家

⑩個人会員委員会

○6/15・土 17:30~ 個人会員総会 北本中央公民館

○6/23・日 第1回個人会員交流登山 日和田山ハイキング

⑪事務局

○公益社団法人 日本山岳協会の平成25年度役員表

○「阿寺の岩場」ワス/60号の記事 ※利用の場合は、ヘルメット必着!!

6. 閉会挨拶 (古峰副会長)

[平成25年度 県岳連指導委員総会報告]



指導委員会総会が埼玉会館に於いて開催

1. 日 時: 6月30日(日)午後13:30分~14:35

2. 場 所: 埼玉会館 7A会議室

3. 開会挨拶: 野村委員長

4. 議長選出: 秋葉委員を議長, 書記に計良委員選出.

5. 議 事

○秋葉議長挨拶、会議の成立の宣言。

○議長より、第1号議案平成24年度事業報告、第2号議案平成25年度事業計画について、一括上程。

○野村委員長から説明

・第1号議案「平成24年度事業報告について」

県岳連関係 6月24日指導員総会、ほかSC講習会、天覧山での登攀講習会から緊急遭難講習会、研修会について実施報告。日山協 指導常任関係報告

・第2号議案「平成25年度事業計画について」

県岳連関係、本日の指導員総会から3月の緊急遭難講習会・研修会までの事業計画を報告及び日山協関係事業計画を報告。

○議長より、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画について全員の拍手で承認可決。

・第3号議案「平成24年度会計報告平成25年度予算(案)について」一括上程。

○野村委員長から説明

平成24年度予算の収入の部において、会費徴収について説明、次年度への繰越金について説明。

平成25年度予算(案)について、収入における指導員会費については前年度の徴収分など含め計上。

○議長より只今の説明に対して質疑・意見を求めた。

Q: 研修における県岳連の補助について伺いたい。

A: 日山協の関連は全員指導常任のため必要が無くなった。また、講習会などへの補助金の処理は、別会計として処理し精算する。今年度の日山協指導員総会の分は県岳連に計良委員の参加費を申請。

Q: 前年度指導員会費40名分計上、これが30名となっているが何故か。

A: 前年度40名であった内、指導員継続しない方がいたため平成25年度計上分は30名になった。

Q: 案内が出せなかったならば、予定告知があればよかったのではないかと、30名は2013年までの未納者分も含めることか。

A: 今後方針として日体協の会費を支払って県岳連分支払っていない方は更新しない方向で行きたい。

Q: 委員長の事務対策として、事務担当を募集しては。指導員を増やすための何か良い案は?

A: 事務処理は大変、日山協の登録の関係など覚えていただかなくてはなりません、指導員を受ける方が少なくなり高齢化になってきている。これらは全国的な状況でもあり上級指導員を受ける人が少なくなっている。一方、山に行く人は多くなっているが、指導員を取る人が少ない状況でもある。来年度指導員養成講習会の実施も考えている。日山協においてはハイキングリーダー制度導入を考えている。受講済と更新可とあるが、更新可について今回は講習会に参加して貰えれば更新可となる。

○日山協の平成25年指導員総会及び研修会について、ハイキングリーダー制度に時間を費やした旨報告。

・ハイキングリーダー制度について鈴木副委員長より報告。指導員総会では、名称を考える必要の意見もでた。

○ハイキングリーダー制度の中で、講習費用が高いと思うかについて質問

・高いと思う数名の挙手あり。内容・質が高くできるよう検討している。制度ができた場合は、指導員の協力をお願いしたいと要請。

Q: 現在の資格は自己研鑽のために保有している人が多いが、今後この資格は日山協の資格ではあるが日体協から各市の体育協会の体育祭が行ってバスハイなどで知らない体育委員が困っていると思うので、それらの場で活躍できるように、働きかけを

してはどうか。バスイクなどではハイソグライダー資格を作るので、各体協にリーダーを付けなさいというような日本体育協会を通して要請してもらえばと考える。

○日体協には作ることは説明している。運営上の問題となるが提案はしていくこととなると思います。

○議長：ここで承認を求め、拍手をもって決することを宣し拍手多数で承認された。(議長解任)

6. 閉会挨拶：野村委員長、閉会を宣し総会は終了。

平成 25 年度夏山遭難防止講習会

主催：遭難対策委員会

期日：平成 25 年 7 月 20 日

場所：飯能『天覧山～多主峰山』

講師：瀬藤 武(浦和溪稜山岳会)，

スタッフ：松本 善行，鈴木百合子(無名山塾)

岩井田正昭(川越山の会・五十雀)

参加者：伏見美名子(個人会員)，芝田 信子，山村 淳一，本村 貴子，樽木 君江(桜草山の会)，岡野敏，熊谷 潔(蓮田山の会)，岩武 成明(UDAC)，相沢 重夫，内田 文子，千葉 弓子，柴崎 英保，渡辺 淑子(川口登山同好会)，宮脇 卓士(熊谷山旅会) 計 18 名 記・岩井田



投稿 夏山遭難防止講習会に参加して

桜草山の会：芝田信子

県岳連主催では、初めての企画 夏山遭難防止講習会に参加した。8 時 30 分 開校式。 スタッフ 4 名、受講者 13 名、総勢 17 名での行動となる。

講習内容の説明の後、A、B、C の 3 グループに分れ(所属会以外のメンバーと、それぞれにグループリーダー(スタッフ)の下、9 時 30 分行動開始。今日のコースは 飯能市民会館 駐車場→天覧山→多主峰山→御嶽八幡神社→市民会館 駐車場



足首捻挫を想定し、応急の松葉杖作成 3 種類

コース周辺を網羅した 1/25,000、少し範囲を狭くした 1/12,500、今日のコースを重点とした 1/5,000 の地図を見ながら出発。初めて「地図を読む」に参加した方は、1/5,000 の地図を片手に「へ、ほ」と興味津々。企画の 1/3 は成功?コース道中、緊急時のツェルトの張り方、ビバークの仕方、レスキューシートを使つての対応など、今自分の持っている物を使つた緊急時の避難、救護、搬出の仕方、ヘリコプターへの通報の仕方、を勉強する。納得しながら作業をする。

下りに入ってから捻挫をした人の手当てと搬出。怪我手当ての新製品保冷伸縮包帯と初対面。ハモックに似た怪我人搬出道具を使つたり、テフソングを使つた

簡易ハーネスにカビナを掛けての下り搬送(登り搬送より困難)など、種々の体験をする。

それぞれのリーダーの下、しっかり体に覚え込ませる。



そして山百合の香りを身に終着点の駐車場に到着 ツェルト(簡易テント)の使用方法を学ぶ



《感じたこと》

※新製品、便利物が全て使い勝手の良い優れたものとは思わないが、一度は試して見る必要があるのではないのでしょうか?結果、必要と思われるものを購入すれば良い。ハモック、保冷包帯、サスプリントなどなど。

※いろいろ装備の必要な高度な技術の講習会も必要ではありますが、無雪期の一般登山者の遭難しないための読図、救護、搬出など、山へ登る人、これから登りたい人の準備と心構えを内容とした講習会も必要なのではないかと思いました。

各会での企画、実施が本来であるとは思いますが、お馴染みではない方々との交流もあり、それも必要なかもしれないと思いました。

※個人会員の方 2 名の参加も頼もしいことでした。これからも底辺にも目を心を向けていただければと思います。

スタッフの皆様 ありがとうございます。大いに役立てたいと思っております。



田中県岳連名誉会長を囲んで参加者全員
 ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

『田中文男さんの叙勲受章を祝う会』

敬称略



平成 25 年 6 月 16 日、田中文男：県岳連名誉会長の『旭日小綬章』叙勲受章を祝う会が東京「明治記念館・蓬莱の間」において盛大に開催されました。

司会進行は尾形好雄：日山協事務局長によって進められ、開会の辞を浅見豊：県岳連名誉会長、発起人挨拶に神崎忠男：日山協会長のあと、来賓祝辞に岡崎助一：日本体育協会専務理事、大橋良一：加須市市長、松平恒忠：「子供の家」理事、祝杯の発声を坂口三郎：日山協顧問がそれぞれ述べられました。

懇談のあと、ピアノ演奏による「山の歌」を全員で合唱し、大いに盛り上がりました。

森下健七郎：県岳連会長の中締めの後、閉会の辞を八木原暹明：日山協副会長が締めくくり盛会の中終了しました。

途中、お寄せ頂いた多数の祝電の内から一部が司会よりご披露されました。 広報 岩井田



発起人挨拶に神崎忠男：日山協会長

《阿寺の岩場》最新情報 水道と簡易トイレが完成！

所用のついでに最近の「阿寺の岩場」を大野さんのご案内で見てきました。環境がさらに整備され、快適なグレンデとなりました。



以前ベンチ脇にあった手洗い用のドラム缶は撤去され現在は清冽な水がほとぼしるカラン付の水道に変身。



清冽源水の取水口（150m 上部左側の沢）を見学し、納得。これは途中にある濾過マス。完璧。



更に第一駐車場の奥に立派な簡易トイレが設置され以前の岩場仮設トイレは廃止、使い易い清潔なトイレです。なお処理した紙は各自で持ち帰り廃棄。是非きれいに使いたいものです。ビニール袋、トレペ も常備。維持管理費・1 回/100 円

《阿寺の岩場》に行かれる方は事故防止のため必ずヘルメット着用してください、ノーヘルはレッドカードです。（予備のヘルはありません）

いつまでもこの環境で使えるように皆様のご協力をお願いします。グレンデ使用の際は 事前に **090-8589-4300** 大野さんへ連絡下さい。

広報・@miwaid

埼玉県山岳連盟 参与会名簿 敬称略

- 名誉顧問 : 浅見 豊 [恵流峰会]
- 名誉会長 : 田中 文男 [浦和山岳会]
- 参与 : 新井 宏司 [奥武蔵WV]
- 参与 : 武井正男 [深谷山岳会]
- 参与 : 中田 弘
- 参与 : 柳下 明男 [山岳同人埼玉]
- 参与 : 山口 定男 [我逢人信越山の会]
- 参与 : 大野 好司 (高体連登山専門部)
- 参与 : 平沼 伸一 [小川山の会]
- 参与 : 亀田 泰二
- 参与 : 三ツ木達男 [恵流峰会]
- 参与 : 内野 安登 [エコー山の会]
- 参与 : 恵秀 彦
- 参与 : 斉藤 勝男

【専門委員会・計画】25 年 10 月～26 年 1 月】

- ①事務局
 - 10/9 : 常任理事会 ・北本
 - 11/13 : 理事会 ・北本
 - 12/11 : 常任理事会 ・北本
 - 1/8 : 理事会 ・北本
 - 1/26 : 新春懇談会 ・()
- ②指導委員会
 - 10/20 : 登攀技術講習会/指導員研修会 天覧山
 - 10/26-27 : SC 指導員養成講習会
 - 11/9-10 : SC 指導員養成講習会
 - 1/18-19 : 積雪期講習会/研修会 (遭対合同) 那須
- ③競技委員会
 - 10/4-6 : 第 68 回・国体東京
 - 11/17 : 関東地区 C 競技会 太田市 CG・オズ
 - 12/8 : コバトクライミングカップ 加須
 - 12/22-23 : 第 4 回全国高校生選抜 C 選手権大会 加須
- ④選手強化委員会
 - ※ 競技委員会と同様
- ⑤遭難対策委員会
 - 10/20 : 登攀技術講習会/指導員研修会 天覧山
 - 11/9 : レスキュー講習会 場所未定
 - 11/16-17 : 冬山遭難防止研修会・講習会 那須研
 - 12/7 : レスキュー講習会 場所未定
- ⑥海外登山委員
 - 11/5 : 例会 大宮
 - 12/7 : 海外登山研究会/忘年会 大宮
 - 12/10 : 第 27 回海外登山女性懇談会 東京
 - 2/23-24 : 日山協・第 52 回海登研・八王子
- ⑦自然保護委員会
 - 11/16 : 自然保護指導員講習会 東京
 - 12/14-15 : 関東ブロック自然保護交流会 神奈川
- ⑧ジュニア委員会
 - 12/22-23 : 第 4 回全国高校生選抜 C 選手権大会加須
- ⑨広報委員会
 - 10/中 : 広報誌『46 号』発行
 - 1/8 : 編集委員会
 - 1/末 : 広報誌『47 号』発行
- ⑩企画委員会
- ⑪個人会員委員会
 - 11/17 : 第 2 回交流登山 谷川天神平

「親子自然観察教室」に参加し

防衛医大 谷水亜季

山岳同好会の先輩にお声をかけていただいて、今回のキャンプをお手伝いすることになった。廃校になった分校の校舎を使用することや、霧藻ヶ峰まで皆で登ることなど、話を聞くうちに、スタッフとしても十分に楽しめるのではないかと思った。同時に山岳連盟の方には初めてお会いするので緊張も感じていた。

キャンプ当日、それぞれ得意分野をもってスタッフとして参加されている優しいような連盟の方々にお会いした。皆忙しそうに動いていらっしやっただけで挨拶もそこそこに手伝いを開始した。3日間通して主に子供の遊び相手となることと、配膳の補助などをやらせて戴いた。段々と仕事の流れが分かってくると、次から次に動く連盟の方のバリエーションとイベントの多さに驚かされてしまった。中でも最も印象的だったのは、参加する前から楽しみにしていた霧藻ヶ峰山行である。

富士登山の行列に負けず劣らずの大人数で登る様子は普段の山行では中々見ることができない。霧藻ヶ峰山頂からの景色と共に忘れられないだろう。夜には大人向けの講話の時間もあつた。写真家の新井さんによる秩父の自然の話や、ハタチの方の話を聞く場で、ご父兄の方とも交流でき、多くの新しい知識と情報を得ることができた。今回のようなキャンプは子供が主体だと、ばかり思っていたので、単なる付き添いではなく親達自身も楽しめるキャンプになっているのだと感じた。

キャンプを通して、周りの雰囲気を感じて自分がどう行動すればいいのか、また子供に対してどのようにふるまい、どんな仕事を割り振れるのかを判断する機会を与えられた。普段は世代の異なる人達と接する機会が少ないので、今回の経験は私にとっても貴重なものとなった。



公益社団法人日本山岳協会 組織変更のご案内

[役職]	[氏名]
会長	神崎 忠男 (再任)
副会長	八木原 暁明 (再任)
副会長	國松 嘉伸 (再任)
副会長	佐藤 旺 (新任)
専務理事	尾形 好雄 (再任)
常務理事	小野寺 斉 (新任)、西内 博 (再任)
	仙石 富英 (再任)、森下健七郎(新任)
	京才 昭 (新任)、水島 彰治 (再任)
	瀧本 健 (新任)、青木 秀則 (新任)
理事	相良 忠麿 (再任)、北村 憲彦 (新任)
	増山 茂 (新任)、小野 倫夫 (再任)
	高橋 時夫 (新任)、小宮山 稔 (新任)
	永山 義春 (新任)、亀井 正明 (新任)
	伊藤 克己 (再任)、小林 弘之 (新任)
	宮崎 良平 (新任)、多田 修 (新任)
監事	内藤 順造 (新任)、岡本 忠良 (再任)
	中島 正喜 (新任)

山梨県山岳連盟 新役員のご案内

[役職]	[氏名]
会長	古屋 寿隆 新任
副会長	羽田 政人 留任
副会長	近藤 孝久 新任
副会長	小宮山 稔 新任
副会長	上原 昭則 新任
理事長	望月 啓治 新任
副理事長	磯野 澄也 新任
副理事長	辻 敏夫 新任
副理事長	小林 稔 新任
副理事長	金丸 祐司 新任

千葉県山岳連盟 新役員のご案内

[役職]	[氏名]
会長	関日 薫 (新任)
副会長	高山 雅夫
理事長	岩崎 喜司(新任)
事務局長	岩崎 喜司
指導委員長	蛭田 伸一
競技委員長	日次 俊雄
遭難対策委員長	須賀 邦雄
自然保護委員長	汝田 伸
海外委員長	春日 重敏
普及委員長	小川 秀樹
監事	山崎 啓史
監事	長谷部 勝

3月～9月 リザルト 1～8位入賞者

.....

《日本ユース選手権2013“ミレーカップ”》

2013.3.30-31 印西・松山下公園総合体育館

リード'女子アンダーユースB : 2位 曾我 綾乃

リード'男子アンダーユースB : 4位 奥墨 鴻太

〃 : 7位 小滝 岳人

〃 :17位 中村 颯人

リード'女子ユースB :13位 金子 桃華

リード'男子ユースB :12位 加藤 悠生

リード'男子ユースA : 1位 是永敬一郎

〃 : 4位 波田 悠貴

〃 :12位 加藤 亮央

〃 :18位 渡邊 海人

リード'女子ジュニア : 1位 尾上 彩

※お詫び 前回広報誌 45 号にてミレーカップリザルトは 2012 年(第 15 回)を間違えて積載しました。お詫びして 2013 年版を積載いたします。 広報委

.....

《第27回リード'ジャパンカップ》

2013.6.1-2 東久留米市スポーツセンター

男子リード'総合 : 7位 是永敬一郎

〃 :22位 波田 悠貴

〃 :59位 松岡 準弥

女子リード'総合 :34位 坂井 絢音

〃 :53位 金子 桃華

.....

《第 16 回 JOC ジュニアオリンピック大会》

2013.8.10-12 南砺市 桜ヶ池クライミングセンター

リード'アンダーユースB 女子 : 5位 曾我 綾乃

リード'アンダーユースB 男子 : 13位 奥墨 鴻太

〃 : 15位 小滝 岳人

リード'ユースB 女子 : 14位 金子 桃華

リード'ユースB 男子 : 7位 加藤 悠生

〃 : 9位 本間 大晴

〃 : 14位 神田 慎

〃 : 15位 續 椋太

リード'ユースA 女子 : 2位 坂井 絢音

リード'ユースA 男子 : 7位 加藤 亮央

〃 : 10位 渡邊 海人

.....

《IFSC世界ユース選手権》

2013.8.15～8.19 カナダ・サーニッチ(SAANICH)

男子ユースA : 4位 波田 悠貴

男子ユースA : 6位 是永敬一郎

女子ジュニア : 6位 尾上 彩

《2013 年無名山塾 デナリ遠征登山隊》

マッキンリー(Mt Mckinley)6,194m登頂成功!

※ (現地名:Denali=デナリ/標高 6,194m)



5 月 30 日～6 月 22 日に掛けてアラスカ州にあるマッキンリー・ウェストバットレス(6,194m)に挑んでいた《2013 年無名山塾 デナリ遠征登山隊》が予定通りの日程とコースを登頂に成功、全員無事に下山しました。

隊長は[県岳連・海外登山委員長]《無名山塾所属》鈴木百合子、小林英也隊員、福本恵隊員の3名によって行われました。国内での高所順応など、事前の周回な準備が功をなし、全員登頂を成し遂げました。

【海外登山報告会】開催のおしらせ

主催：県岳連 海外登山委員会

期 日：平成25年12月7日 pm3:00～5:00

場 所：ICI石井スポーツ大宮店 3階会議室

TEL 048-641-5707

報告会：『デナリ遠征登山報告』※左記

鈴木百合子・県岳連海外登山委員長

『K2 遠征登山報告、最近のバキスタンの情勢』

栃木岳連・北村誠一氏

(宇都宮溪嶺会所属、K2登山隊隊長)

【編集後書】 スポーツ祭東京2013

思い起こすと2004年開催の「埼玉59国体」から9年ぶりとなる男女総合1位(天皇杯)を手中に、女子総合5位(皇后杯)の成績に応援団として参加したこの大会はすごく印象に残る競技だった。初日の少男リード決勝で判定審議に時間がかかり、表彰会場で待つ間は一喜一憂の不安な1時間だった。

やがて知合いの某委員長が「違反とする文言がないんだよ」と教えてくれた。判定は『第1位』だった。選手、監督とも表彰台から降りて暫らくしてから、初めて笑顔を見せてくれた。そして吹っ切れたように最終日のボルダリングは文句なく『第1位』だった。来年も又、素晴らしい大会を楽しみにしたいものだ。

@miwaida







取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートベレイシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と
ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5
Tel:042-980-5650 Fax:042-971-6780
URL: <http://pyramide-japan.com/>
Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

革にこだわる

長期縦走3シーズンの決定版!

メーカーに別注、約3年ぶりに **限定モデル** として復刻。

MOUNTAIN



復刻
モデル



Dolomiti
Val di Fiemme



ラバーバンド

幅広のサイドラバーを全周させ、補強。ハードなロングトレイルにも対応。



マイクロボラスミッドソール

2種類の密度の異なる組み合わせのソールは、クッション性・耐久性に優れ、軽量化にもなっています。



高品質フルグレイン・ヌバックレザー2.6mm

イタリアの高品質で堅牢なフルグレイン・ヌバックレザーを惜しみなく使い履き込み程に味が出る革本来の良さ。



V字カットアングルパット

足首の保護と歩きやすさを両立。下りなどでもアキレス腱にかかる負担を軽減。



GORE-TEX®

防水透湿性に優れたゴアテックス®をライニングし、濡れやムレを解消。全天候快適です。

LA SPORTIVA

バルディフィメ GTX

WT: 約625g (25cm, 1/2足) サイズ: 23.0cm~27.5cm



ニッピン特価

33,800円

上り、下りで差がつく **特許ソール** + **GORE-TEX**

疲労軽減ソール! **完全防水** ブーツ

IMPACT BRAKE SYSTEM

形状の異なるソールパターンがクッション性とグリップ力を向上させました。

上り、下りグリップ力UP
ソール接地部分を斜めにカット。強力なグリップ力を実現。

衝撃吸収力UP
クッション効果により関節の疲れを軽減。

疲労軽減 **20%**
履いて実感!

W 装備

完全防水

GORE-TEX

履き込み程に **タイフーンGTX**
永く付き合えるレザーブーツ

GORE-TEX

Vibram SOLES

重さ: 約600g (1/2)
サイズ: 23cm~27cm

25,800円

トランゴハイクGTX
名前はハイクでも性能はトレッキング仕様

GORE-TEX

Vibram SOLES

重さ: 約525g (1/2)
サイズ: 23.5cm~28cm

17,700円

サンドストーンGTX
悪路でも丈夫で堅牢なローカットモデル

GORE-TEX

Vibram SOLES

重さ: 約425g (1/2)
サイズ: 23cm~28.5cm

14,800円

山の“3種の神器”ザック・山靴・雨具は安心の専門店です!!

登山用品やお得な情報満載! **WEB SHOP**もご利用ください

はじめての山登りに応援します!

割引クーポン、おトクな情報をお届けします。

ニッピン 検索

http://www.nippin.co.jp

パソコンから 携帯から

ニッピンは、
秋葉原に登山用品専門の
お店を構え、
おかげさまで62年。

秋葉原 OUTDOOR MIND

〈営業時間〉
平日・土曜 11:00~19:30
日曜・祝日 11:00~19:00

本店 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-11-11 **03(3253)1431**

神田小川町店 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2 **03(3233)4121**

秋葉原本店

秋葉原1Xから徒歩5分

ALP K2®

間もなく本格的な夏の訪れです。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの体内に今どの位酸素は入っているか、脈拍はどの位か、正確な機械で測定してみてください。

2 年前、日本山岳協会創立 50 周年の時に特別提供したパルスオキシメーターを、更に特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。



お中元の季節です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたらいかがでしょうか。超特価でご提供できます。父の日、母の日、敬老の日、結婚式等、用途に応じて対応させていただきます。むろん山行に持参できる小型タイプもございます。



夏休みや野外観察に本格的な聴診器はいかがでしょう。正直、樹木が水を吸い上げる音を聴くのは、難しいと思います。でも、色々な音が聴こえます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。樹はまるでパラボラアンテナのようにいろいろな音を集めます。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は 1969 年の創立。世界 80 数カ国に製品を輸出しております。



登山者必携
パルスオキシメーター

- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社
113-0033 東京都文京区本郷3-16-3
TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177
Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております